



THE Y'S MEN'S CLUB OF KOBÉ PORT KOBÉ PORT

THE SERVICE CLUB TO THE YMCA

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

Chartered May 8, 1988
神戸ポートワイズメンズクラブ
〒650-0001 神戸市中央区加納町 2-7-15
神戸 YMCA 本部事務局
Tel 078-241-7201
Fax 078-241-7479
E-Mail: houshi@kobeYMCA.org
http://www.kobeYMCA.org/

第1例会 第2木曜日 7:00-9:00P.M.
第2例会 第4木曜日 7:00-9:00P.M.

第 326 号

神戸ポートクラブ会長(CP) 森 恭子『チャレンジでチェンジを!』"Challenge to Change" 2015年2月

国際会長(I P) Isaac Palathinkal (インド) "Talk Less, Do More" 「言葉より行動を」

アジア地域会長(AP) 岡野 泰和 (日本) "Start Future Now" 「未来を始めよう、今すぐに」

西日本区理事(RD) 松本 武彦 (大阪西) 「響き合い、ともに歩む」 "To walk together, echoing each other"

六甲部部长(DG) 多胡 葉子 (宝塚) 「わたしとあなたのY'S ダムをYMCA と共に」 《ユース・交流・地域》

2月強調月間 TOF・CS・FF

身近なボランティア、献金にご協力をお願いします。

渡壁十郎 地域奉仕・環境事業主任 (長浜クラブ)

<2月 TOF 例会>

2月は(TOF)断食の月です。おいしい料理は出ません。ポートクラブの地域奉仕・環境事業と、クラブ運営役割確認について語り合います。

<記>

日 時: 2015年2月12日(木) 19:00~20:30

場 所: 神戸 YMCA カレッジ会議室 (新神戸オリエンタルアベニュー 2F)

内 容: ドライバー: 森 恭子会長

開会点鐘 森 恭子会長

聖句/祈禱 西澤他喜衛ワイズ

クラブの事業委員と現状について考える。

- ・地域奉仕・環境事業は?
- ・次年度体制役割について 等
- ・2月の誕生者お祝い及び諸連絡
- ・閉会点鐘: 森 恭子会長

* TOF 献金として 1,000 円を負担して頂きます。

<1 月出席状況>

出席率: 90.0 %

(出席総数) 18 / 20 (在籍会員数)

出席数: ワイズ 18 (内メイクアップ5)

メネット0、ゲスト1、ビジター0 計19名

<現在のファンド・累計>

	1月	累計
ニコニコ	3,000円	12,000円
献金積立	2,000円	63,000円
物品販売	0 円	6,940 円

今後の予定

<2月 TOF 第1例会>

2月12日(木) 19:00~YMCA カレッジ会議室

<2月第2例会>

2月26日(木) 19:00~勤労会館 3階 305号室

<西日本区次期会長主査研修会>

3月7-8日 チサンホテル新大阪

<3月第1例会>

3月12日(木) 19:00~三宮ターミナルホテル

<六甲部第2回評議会>

3月21日(土) 神戸栄光教会

<2月のお誕生者>

7日: 佐野 恵美メネット 27日: 井内 朋博ワイズ

TOF 献金として各自 1,000 円ご負担頂きます。正会員の欠席、及びメネット・ゲスト他 出席は、前々日迄に坂本連絡主事宛連絡下さい。

< 2015年2月の聖句 >

<彼が刺し貫かれたのは、わたしたちの背きのためであり、彼が打ち砕かれたのは わたしたちの咎のためであった。彼の受けた懲らしめによって、わたしたちに平和が与えられ、彼の受けた傷によって、わたしたちはいやされた。(旧約イザヤ書 53:5) >

教会暦では、例年2月中旬頃頃からレント(受難節/四旬節)が始まり、イースター(復活節)直前まで続きます。「主イエス・キリストの十字架の苦しみを偲び、自らの罪を省みて、その罪の贖いを感謝する時」です。この中心は、贖罪です。キリスト教の中心の教義です。ギリシャ・ローマ的な「知恵」を好む日本で、聖書的な「知恵」を語り続けます。

(Rev. Nishizawa)

2014-2015 年度クラブ役員

【会長】森 恭子【副会長】広瀬 献児【書記】鈴木誠也【会計】小田 浩【監事】山崎往夫【連絡主事】坂本庸秀

会長メッセージ

森 恭子

会長を務めさせていただき、毎月会長メッセージを書かせていただいています。毎月、何があるかな、と思いを巡らせますが、あらためて気づくと何もない、ということはほとんどなく、何かがやはり日々起こっていることに改めて気づきます。2月はじまりの第一報は、もっとも衝撃的なニュースでした。普段と変わらない日常の営みは、しかし同時に、現実とは信じがたい出来事も起こっていることも事実です。ある人にとっては、なんでもない今日のはずが、人生を一転する一日となっているかもしれません。日々変わらない平穏がいかに重要であるのか、あらためて噛みしめます。世界の空気が、澱んでいるようにも感じます。その澱みを敏感に感じるができるかは、とても重要な感覚ではないかと思います。今月は、TOF 月間です。静かなときをみなさんと共有し、世界の、また身近な社会でのあらゆる課題に思いを寄せるとともに、お互いを尊重する大切さを実践してきたいと思います。

<1月第1例会報告>

2015年1月8日(木) 19:00-21:00、三宮ターミナルホテル、クラブ
会員13名ゲストスピーカー1名出席。

福祉ネットワーク西須磨だんらん副理事長の玉島剛氏による「落語あれこれ」と題して古典伝承芸能のひとつを解りやすく、なる程と思わせる内容で進められた。ご自身の事にも触れられ小中学生時代からすでに興味をもたれ、更に入社時の面接時には小唄風に対応することも考えられたとのこと。東京でのサラリーマン生活時は関西弁が懐かしう上方落語に益々ほれ、古典ものの研究の為古本屋巡りもされた。落語家になるには養成学校はなく、弟子入り(入門)の形で、月謝不要、従って月給もなし。上方落語は400~500程あるが、生き残っているのは50~100程が繰り返して話されている点、正に伝承芸能といえる。また、小道具は無く、何もないから何でも表せるのが魅力とも、強調されていた。いずれにしても、生の落語を楽しんで欲しい、聞きに行ってくださいとのことでした。質疑の時間は僅かでしたが、やさしく、実例を織り交ぜながら解説して下さり、時間に追われながらも新春らしく明るいひと時を過ごせました。(小田 記)

「落語のはなし」の後、新年に相応しく、みなさんに①自分にとってのポートクラブの魅力 ②今年クラブでやりたいことを発表して戴きました。インフルエンザの猛威などにより、参加者は少なかったですが、13人の異なるポートの魅力を知ることができました。それぞれにいろいろな輝きがあることがわかります。続きは2月第1例会で! (森 記)

郡美恵子さん、①友と楽しく話せる。②皆さんのあとについていきます。いろんな所に行きたい。

細見俊雄さん、①いろいろな分野の人がいる。②今年は少々休憩?! (広報主査を担ってくださいます!)

水野雄二さん、①ポートは国際を重視。国際的見識を豊かにでき、人と出会い交わる。②時間的余裕ができる予定なので、更に活動に関わりたい。特に若い人勧誘。

小田浩さん、①誰とでも話ができる。常にドアがオープンなのがいい。②心身ともに若く健康。IBCもある。平和の大切さを日常から。

廣瀬献児さん、①人とのつながり。YMCAと近い。②できることをできるだけ、できるだけ時間を作る。ユースコンボケーション

廣瀬頼子さん、①人とのつながり。②できるだけ例会出席。AYC2015 ユースコンボケーションの支援と見学。

大野勉さん、①各世代そろっている。まじめな人が多い。②メンバー増強。チャリランでみんなで走る!

大野智恵さん、①助け合える、やさしい、まじめ、おもしろい、受け入れてもらえる。②いろいろなイベントでできるだけ沢山の人で活動したい。4月4日コンサートよろしく!

佐野睦さん、①パワフルで愉快、おもしろいクラブ。②余島例会への参加

西澤他喜衛さん、①和やかな仲間。しかし、Ysの使命を果たそうとする姿。②第1例会は必ず出席。ポートの一番しんがりを務める。

丹羽和子さん、①おもしろい方が沢山。きっちりより、ワイズとは考えたい。

鈴木誠也さん、①多種多様な人との交流。②バックの仕事に徹する。ポートクラブ活動の引き継ぎ。

森恭子さん、①メンバーのみなさんのものすごい勢い(パワー)とやさしさ。②一人一芸!!!お互いに楽しむことができるものを身につけたい。

<1月第2例会記録>

日時: 2015年1月22日(木) 19時~ 場所: 神戸市勤労会館3階304号室

出席者: 井内、大野智恵、大野勉、坂本、佐野、鈴木、丹羽、橋本、水野、森、山崎、山田、12名

1) 1月第1例会出席: ワイズ 13, ネット 0, ゲスト 1, 合計 14名
出席率: $13 + (\text{メイクアップ} 5 \text{名}) \div 20 (\text{現会員数}) = 18/20 = 90.0\%$
メイクアップ: 第2例会出席 井内、坂本、橋本、山崎、山田 5名

2) 1月活動報告の件

*8日(木) 第1例会、19:00~三宮ターミナルホテル、

会員 13、ゲスト 1 合計 14 名、当日キャンセル 2 名。卓話は玉島剛氏「落語あれこれ」

18 時～使用済み切手処理作業 7 名、成果日本切手 1.2kg 外国切手 0.1kg 中村剛国際交流主査 (BF 担当) に託した。

*17 日(日)震災 YY フォーラム (神戸栄光教会) 8 名出席

*22 日(木)第 2 例会 神戸市勤労会館 304 号室にて開催。

*24 日(土)神戸 YMCA 支援イベント、チケット 30 枚販売
貢献、クラブよりメネット含め 12 名参加。

3) 2～4 月例会予定

*2 月 12 日(木)第 1 例会 (TOF 断食の日) 神戸 YMCA カレッジ、19:00～20:30 までとする。食事なし、会長によるドライバーで、クラブ内事業活動等について研修。

*2 月 26 日(木)第 2 例会、勤労会館 3 階 305 号室

*3 月 12 日(木)第 1 例会、三宮ターミナルホテル、オリンピックの山口元理事長による八代論

*3 月 26 日(木)第 2 例会、勤労会館 3 階 304 号室

*4 月 9 日(木)第 1 例会、三宮ターミナルホテル、西澤ワイズによりイースターについて予定する。

*4 月 23 日(木)第 2 例会、勤労会館

4) 今後の予定

*2 月 7 日(土) 18:00～ IBC 交流特別例会 (タイ・チェンマイクラブ、台湾・高雄クラブとの食事会)
神戸クラブが担当しているが、食事代に対してゲスト二人分の負担とクラブからの出席者に対して補助を支出することを決定した。

同日 14:00～ さんだクラブ・バレンタインコンサートが開催されるが、チケット販売に協力する。

*2 月 8 日(日) 故今井鎮雄氏お別れ会、出席予定者 7 名を登録した。

*3 月 7～8 日西日本区次期会長・主査研修会

*3 月 21 日(土)六甲部評議会、神戸栄光教会予定。

5) 今後の課題

*後期半年報、クリスチャニティー委員会アンケートは書記から提出済

*国際選挙は会長郵送済、次期クラブ会長と広報事業主査の登録は会長に一任する。

*交流委員からタイ・チェンライクラブと IBC 締結について準備中。小田ワイズ 2 月現地訪問する。

*誕生祝いは、スプーン、マグカップ、カード準備している。

*ファンド「柿チップ」、1 月より仕入れ値段が上がるので単価を 600 円にする。350 円 (500 円) → 420 円 (600 円)
今後の販売可能な行事は?

*希望の風上げ会を 3 月 7 日(土) 須磨海岸で予定する。

*4 月 4 日(土)六甲部メネット会チャリティーコンサート。クラブとしてチケット 40 枚預かり、山田ワイズが担当するので、一人平均 2 枚の販売に協力してほしい。

6) ブリテン 2 月号: 2 月 2 日(月) 原稿締切、2 月 5 日(木) 発行、印刷、郵送。

・2 月第 1 例会案 (森) 1 月第 1 例会 (小田)、第 2 例会 (鈴木)、1.17 報告 (大野勉)、メネット事業 (大野智恵)。

(鈴木 記)

<阪神淡路大震災から 20 年>

あつという間の 20 年。まだまだ 20 年。あの日、あの時の記憶は今も鮮明に蘇る。自身のこと。家族の事。職場の事。避難所の事。YMCA の事。「あの日から生き方が変わった。」そして 20 年たった。今年は 1 月 17 日が土曜日と

いう事で、一日中、震災関連の会に参加した。午前 5 時 30 分: 須磨寺震災物故者追悼法要。午前 8 時震災メモリアルウォーク: 須磨海岸から HAT 神戸まで、被災地を 15km 歩く。ちょっと遠回して 19km。午後 1 時: 神戸栄光教会: 神戸 YMCA 震災 YY フォーラム参加。震災当時神戸 YMCA 職員の佐久間眞人さん (現在日本 YMCA 同盟東山荘職員) の講話を聴き、参加者と分かち合い。ユースリーダーの話しも良かった。その後、ランニングで家へ帰り、震災時避難者の多かった駒栄公園そばにできた温泉へ出かけ、一日の汗を流した。32km をラン & ウォークで回り、今生きている事を実感した一日でした。(大野 勉)



<大震災 YY フォーラム>

1 月 17 日(土) 13～17 時 神戸栄光教会で開催され、クラブより 8 名参加。大震災 20 年を偲ぶ開会礼拝に続いて、当時長田の西神戸 YMCA で長田地域の救援活動を担当された佐久間眞人さんから生々しい活動を紹介されながら当時のボランティア活動について教えられました。その実績を買われての東日本大震災での救援活動にも日本 YMCA 同盟からの派遣としての大変な働きをされました。その後の分団討議によるユースリーダーたちとの話し合いを通じて改めて YMCA のボランティア活動のすばらしさについて学びました。(鈴木 記)

<神戸 YMCA 支援チャリティーイベント報告>

1 月 24 日(土) 14 時～ カトリック神戸中央教会で開催されました。神戸 YMCA とワイズ六甲部の共催というこ



とで準備され、当日は10時から実行委員会他役割を与えられたYMCAスタッフ、ユースリーダーOBOG、ワイズメンバーが集まり準備開始、リハーサルを含めて久しぶりに多くのみなさんが熱い思いで働きました。

プロローグはスーパーキッズオーケストラ、小学生～高校生のキッズ達の礼儀正しい素晴らしい管弦楽演奏でした。基調講演は田口壮さん、メジャーリーグと日本野球の違いについて等しく聞けました。トークセッションは我が水野さんの軽妙な進行で、小学生から廣瀬献児さんを含めた7名が光輝くフレッシュなトークでした。（鈴木 記）

<チェンライ Y's との IBC 締結に向けて>

昨2014年12月7日神戸YMCAの兄弟Yであるタイ王国チェンマイのブランチ、チェンライYMCAに新しくY's Men's Club（会員数16名）が誕生しました。長年の悲願であり、十分準備されてのことでした。チャーター式には



チェンマイ Y's はもとより、バンコック Y's や香港から、またアジア会長の岡野さんなども参加されました。神戸ポート Y's はこのチェン

ライ Y's と IBC 関係を結ぶことになり、去る1月中旬よりマレーシア、タイを訪問中の小田浩ワイズを特使として、森恭子会長の親書をチェンライ Y's に届けて貰っています。今年中には締結式を日本または現地で行いたいと思っています。（山崎往夫）

<メネット事業について>

4月4日の「希少難病患者支援コンサート」のチケットを、各クラブに分配しました。ポートクラブは、40枚を目標に販売することとし、チケット販売は山田滋己さんに担当していただきます。当日、招待したい患者さんがおられましたらお知らせください。たくさんの方に、癒しの音楽を楽しんでいただきながら希少難病について知っていただきたいと思います。広報よろしくお願いします。（大野智恵）

<諸報告・お願い>

*下半期のクラブ会費納入をお願いいたします。

小田会計に会えない方は三井住友銀行口座に個人名で入金した上で会計宛電話か郵送でお知らせください。同時にYMCA維持会費もご確認ください。

*京都でのアジア地域大会の案内は、例会にて配布していますが、申込は各自で直接お願いします。早割は3月31

日までです。申し込まれた方は書記までお届け下さい。

*神戸メネットクラブ50周年感謝の会が、3月14日（土）14～16時、神戸外国倶楽部で開催されます。長尾ひろみさんの講演とシャンソンです。会費は3000円、メネットのみなさんの参加が期待されています。

*「揚がれ！希望の風2015」本年も奈良昭彦さんから呼びかけられました。東日本大震災被災者への激励の為に世界中に呼びかけて風を揚げて想いを届けようという行事です。ポートクラブとしては例年のように、3月7日（土）須磨海岸で開催を予定します。子どもたちを含めて参加をご準備下さい。

神戸YMCAマンスリーレポート

1. 冬期プログラム、無事にほぼ終了！

12月から実施されている今年度の冬期プログラムが無事に進行し、ほぼ終了しようとしています。今冬は大雪や突風、低温という異常気象で多くの地域で被害に苦しむ中、雪を楽しむプログラムの実施も心配されましたが、インフルエンザ罹患が若干出たもののほぼ順調に予定通り実施されました。

2. スタッフ・オブ・ザ・イヤー2014表彰

去る1月5日（月）に新年職員礼拝が青少年会館にて行われ、今年度の「スタッフ・オブ・ザ・イヤー」の表彰が行なわれました。

- ・大槻靖子さん（須磨センター・嘱託専任講師）
- ・本山哲也さん（西神戸ブランチ・主事職）
- ・王 愛華さん（カレッジ・準専任講師）
- ・大田靖之さん（ファミリーウエルネスセンター（FWC）・主事職）
- ・木村和子さん（余島センター・嘱託職員）

3. 今後の予定

1)YMCA リソースモビリゼーション研修会

「リソースモビリゼーション」とは「資源の活用」を意味しますが、YMCAの価値を再確認し、価値を他者に伝えることで資金や時間、能力、信頼を得ようとする考え方です。ご参加ください。

日時：2月14日（土）午後1：00～4：00

場所：神戸市青少年会館5F「レクリエーションホール」

2)YMCA サポートプログラム20周年記念シンポジウム

神戸YMCAが発達障害（当時は「学習障害」）のプログラムを開始して20周年を迎えました。

日時：2月22日（日）午後1：00～4：30

場所：神戸市教育会館 大ホール

参加費：2,000円

プログラム：基調講演「ライフステージに合わせた支援とは」 講師：金 泰子氏（大阪医科大学）